

## 階層別選択研修（共同）

研修名	中級【業務改善分野】		受講者の声	
	マルチタスク対応力向上 トレーニング			優先順位の決め方や方針の具体的な形成方法を分かり易く理解することができました。適宜グループワークや個人ワークも混ぜながら講義が進められたので集中力を維持したまま受講できました。
講師	(株) インバケット研究所 まるやま こうだい 丸山 広太	実施日数・時間	1日間	
		手法	通所研修	
		会場	自治人材開発センター	
		市町村研修コード	235～236	
ねらい	限られた時間の中で様々な業務を遂行するに当たって、組織としての優先順位付けや問題解決などのスキルの向上を図ります。			
対象者	<b>【県】</b> 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 <b>【市町村】</b> 主任級以下の職員			
実施日	① 11/10(金) ② 11/17(金)			
予定人員	県40人・市町村40人（各回 県20人・市町村20人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション  演習問題  優先順位の設定の基礎知識  重要度と緊急度  問題解決力の習得	6	30	・基礎知識やプロセスの考え方  ・問題集を使用して、案件の緊急性、重要性、優先順位と案件処理を考える  ・優先順位をつける必要性  ・パレートの法則 ・緊急度・重要度の2つの軸 ・重要度を影響度に置き換える  ・問題解決プロセス、ポイント（見える問題・見えない問題） ・意思決定力の種類・対人関係能力
特記事項	・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。			